

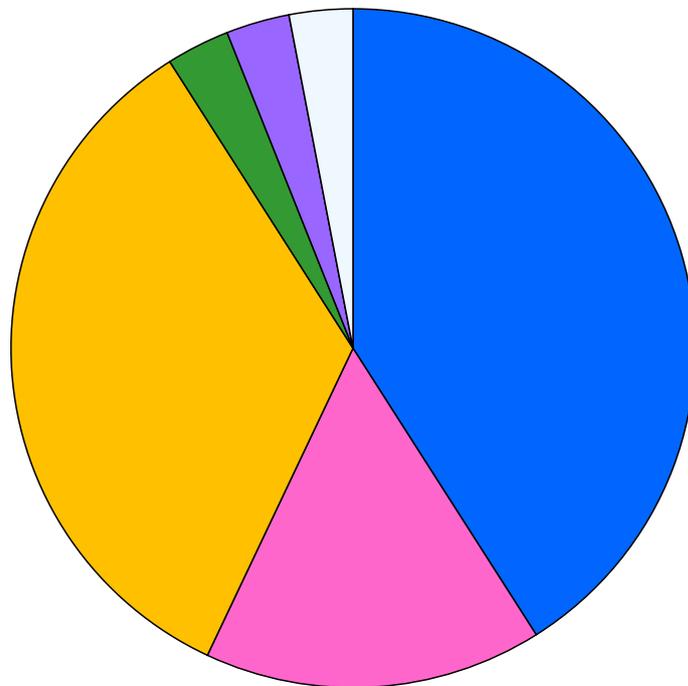
プログラム名 【オンライン】「一生使える話し方の教科書」出版記念トーク  
&交流会

単元名 RA

アンケートタイトル 【オンライン】「一生使える話し方の教科書」出版記念トーク&  
交流会

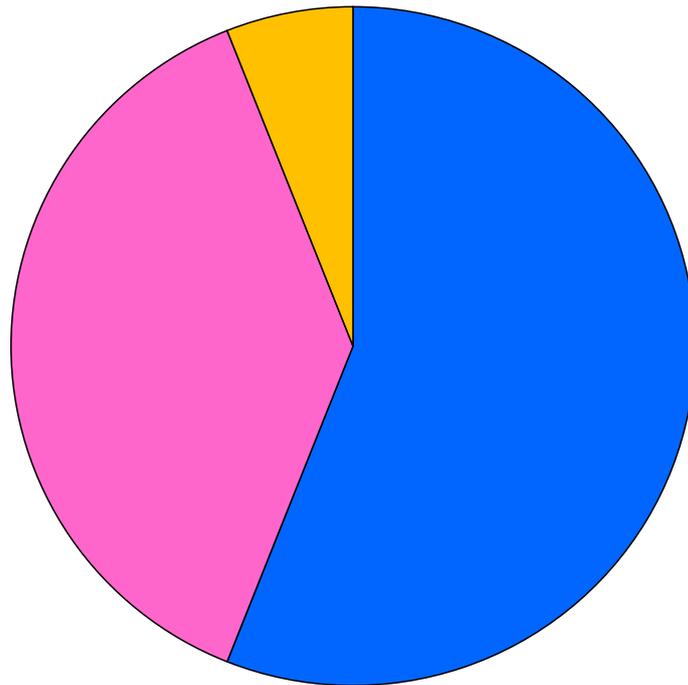
質問1 本プログラムに参加いただいたの第一印象でお答えください。同僚や友人、身近な人にお勧めしたいプログラムでしたか。11段階でお答えください。(10=必ず勧める ~ 0=勧めない) (択一式)

No	解答	人数	%
1	10=必ず勧める	13	41%
2	9	5	16%
3	8	11	34%
4	7	1	3%
5	6	1	3%
6	5=どちらでもない	1	3%
7	4	0	0%
8	3	0	0%
9	2	0	0%
10	1	0	0%
11	0=勧めない	0	0%
		合計	32



質問2 本日のお話の内容を、ご自身の今後の仕事や生活の中で活用できそうだと思いますか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	1 できそうだ	18	56%
2	2 ある程度できそうだ	12	38%
3	3 どちらでもない	2	6%
4	4 あまり活用できそうにない	0	0%
5	5 活用できそうにない	0	0%
合計		32	



質問3 質問2の回答理由を教えてください。また、本日気付いたことや、これからご自身で実践したいと思ったことはありますか？（自由記述）

【自由記述】

・日頃から話し方が下手だと思う場面が多く、自分でもいやになるくらいです。今回ご紹介いただいた本を読み、少しでも相手に伝わる話し方ができるようにしたいと感じています。

・言葉というのは生き物だと思っています。時代によって形や表現を変えて伝わっていく文化ともいうべきでしょうか。当然のことながら、世代によって話し方や使う言葉も違うわけで、コミュニケーションが難しいというのはそういうところもあるのだと思っています。人との付き合いは得意ではないのですが、ベーシックなところは変わらないというのを教えて頂き、少し勇気が持てた気がします。まずは、基本をしっかり学んでいきたいと思っています。

・レスポンスの速さの大事さに改めて気づきました。レスの速さについてあまり気にしてはいなかったので今後は意識して実践したいと思いました

・人と接する仕事をしている自分自身でも利用できる書籍です。同僚に進めたいと思います。

・秋田先生、ありがとうございました。勉強になりました。もっと時間があれば良かった。貴重な内容にも関わらず短すぎです。

・心がけていれば、実践するだけです。  
ちょっと勇気はあるかもしれませんが、難しいことではないと思います。

・話力講座に参加していることもあり、一部は実践させていただいているので、ある程度はできると思います。この講演会については、やはり本を読んでいないと内容に共感が持てるか難しいと思います。

・経団連の新入社員に求めることアンケートで、16年連続の第1位はコミュニケーション能力であるとの事。それだけコミュニケーションをとることができていない現実の中で、話力の持つ力を活用することは意義がある。  
これらからも話力を磨いていきたいと今日の話聞いて思い直しました。

・自分には聞く（聴く）ちからが不足していると自覚している。自覚しているのに改善できないのは、相手の話しが聞き（聴き）たくない内容だと予測し避けてしまう自分がいる。この雰囲気は相手にも伝わり、相手もだんだん言わなくなる。この積み重ねで忖度社会ができてしまうように思う。まずは、聞き（聴き）たくない内容を許容するちからを磨く必要がある。このことを「心格力」と言うのだろうか？

・「1. できそうだ」を選択しましたが、できるできないではなく、問題意識を持って、コツコツ努力し続ける。話力を実践することが大切だと感じています。

・人の世はコミュニケーションが鍵だから

・レスポンス早く！を意識したいと思います。他のポイントも本で学習してみたいです。

・心格力、内容力、対応力の大切さと、その内容をわかりやすく書いてある書籍である

。 他の話し方のテクニックの本とは違う。

・秋田講師のなめらかな話し方に感服している。自分もなめらかに話せるようになるヒントが取り込めそうだから。

・「話し方」は「聴き方」であり「対話」であり「双方」の問題だと説明されました。実践するために情報を収集する行為がこの本を読むことでありこのプログラムに参加することです。読書も教育も、書く側、教育する側と同時に読む側と学習する側とが存在します。この本も著者の秋田先生とこの機会をつくってくださったkk2と読者と参加者から構成されています。学びたい実践したい何かをもって読書し参加したのでご質問に対するご回答はただ一つ、実践したいことばかりでした。もし、そうでないとすると、著者でもない、教育者でもない、読者でもない、学習者でもない第三者の「評論家」だと思えます。

・関わる人(相手)の身になって(親身)に話しを聞いて、、、趣味や、生活環境など傾聴して、合わせられるところは合わせて親しみを持ってもらおう等、自分に出来る範囲で  
今度は自分の話しを聞いてもらえるように、明るく楽しく取り組んで行きます。

・「話し方聴き方は、ノウハウを覚えても実際の生活に役立たない」その通りだと思いました。原理原則、相手を思う気持ちを忘れないよう、何かあったらここに戻れる、そんなふうに使いたい著書だと思います。

・返事もハウツーだけでは生きないと自ら話をしながらあらためて感じました。呼ばれたら「はい」と言う。こう考えている人、ハウツーを知っていますが、メールの返事、レスポンスの速さまで思いが至らない。返事目的、考え方、返事のメリットがなければ実践で生きないですね。できればレスポンスの速い人と仕事をしたいと誰もが思うでしょうが、では自分はレスポンスが早いかというと、なかなか。実践は難しい。

・相手に自分の思いを正確に伝える事は難しいなと常日頃より思っております。先生の本を読んだから直ぐにできるとは思っておりません。まずは先生の本をバイブルとしてひとつひとつチェックして気をつけて実践していこうと思っております。  
早速、昨日のお話を家族や会社の方々にも紹介しました。

・良い本を読んでも、それを実践するのは難しいと思います。しかし、著者は身近な家族や職場の方々から信頼を得て、話力を愚直に実践なさっている。真理は簡単などころにある。しかし、わかっている、実践することは難しい。改めて、話力的に生きることは、我がままな自分との闘いであることを実感いたしました。周りに紛動されることなく、「一生使う教科書」を日常生活で実践してまいりたいと思います。  
参加させていただき、誠にありがとうございました。

・早い返事の重要さをあらためて認識しました。実践を心がけたいと思います。

・KK2の目指すinteractiveと話し方のスキルの話に違和感があった。話し方に重点を置き過ぎると相手の考えをどう聴取して対話を深めるのだろうか？

・よい企画でとても参考になりました、ありがとうございました。私は、あるNPO 法人の理事をしており、事業の一つに「話し方センスアップ講座」を担当しております。その講座の中で秋田先生の本を紹介したり、活用させていただきたいと思っております。

・挨拶は相手を見ないこと、忘れないようにします

・「一生使える話し方の教科書」出版記念トーク&交流会を拝聴させていただき、ありがとうございました。話力総合研究所講師の立場で参加させていただきました。視聴されました皆さんに語りかけるよう、わかりやすい表現で、丁寧に説明されていました。話力理論に基づく内容であったため、興味を持たれたと感じました。

・秋田先生のお話がおもしろかった！  
本は未読ですがなんとなく話し方が上手になったような気がしました。

・お二人の会話の中でレスポンスを早くすることがたいへん参考になりました。私も来たメールにはできるだけ早く返すようにしていますが、まだまだお二人の領域には達していないようなので、改めていきたいと思います。私の周りもみても返事の遅い人は仕事が余りできないというか、一緒にしようという気が起こらないので、若い人にもレスポンスを早くというのを勧めたいと思います。

質問4 第一部「著者トーク、著者×編集者クロストーク」はいかがでしたか。ご感想、出演者へのメッセージなど、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

- ・時間が短くもっといろいろなお話し、秋田先生の掘り下げたディープなお話しを伺いたいと思いました。あっ、でもあんまりたくさんお話しになると本を読まなくなるかもですね。
- ・実は、原稿は出来上がっていた。というお話でしたが、それだけ秋田さんの「話し方」に対する情熱が伺えました。もう少し、その辺りのお話が聞きたかった。出版の本音エピソード等も聞けて、楽しく視聴できました。
- ・秋田先生の人柄がモニタを通して伝わってくるトークイベントだったと思います。ありがとうございました。
- ・特に冒頭10分くらいのお話がものすごく説得力がありました。
- ・参考になるお話を聞いて良かったです。やはり、本を出すことは大変なことであると実感いたしました。
- ・秋田先生出版記念おめでとうございます。短い時間で内容の詰まったお話ありがとうございます。改めて、話力を鍛えないといけないなと思いました。
- ・この本に三十年前に出会いたかった。
- ・浅尾さんからの出版のご相談を秋田さんが一度断っていたとは知りませんでした。色々あった中でそれでもこうして出版されたこと、本当に嬉しいです。終始楽しく拝聴しました。特にお互いの印象のお話。レスポンスの速さの大切さ、再認識しました。秋田さんにほめられると嬉しくなるんですね。本日は本当にありがとうございました。
- ・爽やかな印象を受けました。
- ・15分という時間でもう少し聞きたかったですが、交流会でもお話を聞いたのでよかったです。
- ・秋田先生の熱意が伝わってきました。編集者の本音トークも参考になります。リアルでお二人がお会いするのが、今日で2度目とのことにとびくりました。コロナ禍とはいえ、時代ですね。
- ・この本にはノウハウ、ハウツーではなく原理原則が記述されているとの話が印象的であった。
- ・一見とても謙虚で穏やかな秋田さんの、実はもの凄い情熱や信念をもっておられる方が伝わるライブならではのひとときでありました。この本が編集者の方の秋田さんへのプロポーズから始まったこと、秋田さんはそれを一旦ことわったこと、他の出版社と二股をかけていたこと、他の出版社を断ったことと同じことを現代書林からも言われたこと、編集者が秋田さんの500頁にも及ぶ原稿を「売れる本」へ編集してゆくプロセスと強い決心等々が伝わり感慨深く拝聴しました。著者と編集者のクロストークを拝聴し、著者と編集者と企画されたkk2に感謝しております。

・親しみを持って、相對して居るのが見えてお互いに信賴關係にあるのが良く判りました。1回断った！ そのあと断られた！ などの、本音トークは、面白かったです。

・クロストークは、出会いから二人三脚の本づくりの過程など、なかなかお話を伺う機会のない内容で興味深かったです。相手を思う謙虚さと共に、メールや話し合いで一致点を探る努力、葛藤も垣間見えて時間があっという間でした。

・浅尾さんががんばってくれました。佐々木さんの司会が最高でした！

・出筆・出版されるまでの背景や経緯等をはじめて拝聴出来て 面白い時間でした。また、設定時間が短すぎず、長すぎずの丁度良い、集中して拝聴できる時間設定にも関心しました。

・信賴できる編集者と著者との出会いが、練りあげられ一冊の本を誕生させたことに、感動いたしました。

・話し方の本は沢山出ているのに、なぜ浅尾さんは秋田理事長に本の出版の話を持ちかけられたのですか？ 機会がありましたらぜひ伺いたいと思います。

・突っ込みが足りないように思えた。編集者には筆者に対してもっと切り込んでほしかった。身内で感謝し合っても聴衆には何も伝わらない。

・編集者の方の考えは、普段聴く機会がありませんでしたので、内情を知ることができてとても参考になりました。私も過去に本を出そうと思っていたのですが挫折してしまいました。いろいろ理由はありますが。

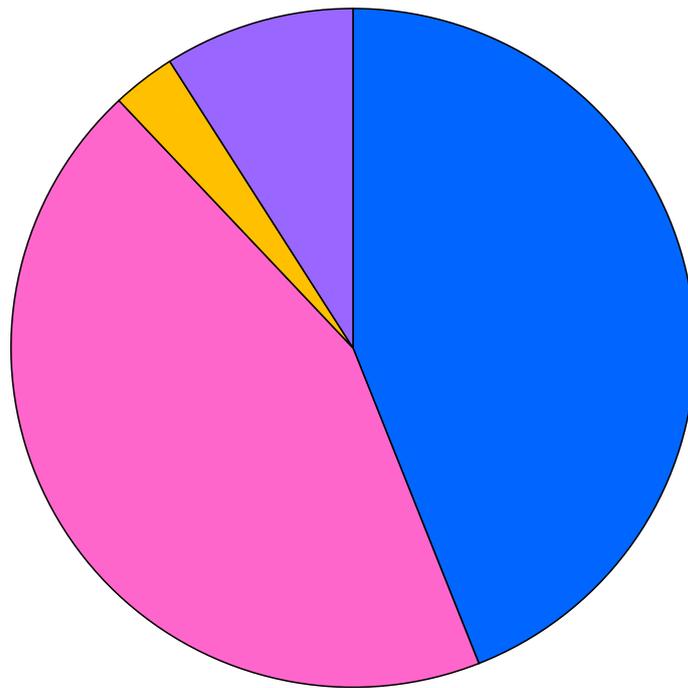
・短い時間の中で、お二人の息の合ったトークに、この本に込めた”思い”が伝わり、素晴らしい出版記念に相応しいトークでした。

・出版するまでの裏話、編集者さんのご苦労など、大変興味深く拝見しました。ほかの本でも聞いてみたいな、と思いました。今回1時間ということで短すぎる気もしますが、このくらいが集中して聞けていいかもしれません。第2弾、第3弾を期待しています！

・時間が少し短かったので、話したりなかった人もいたのではないのでしょうか。もう少し長くてもよかったかと思います。

質問5 第二部「交流会（Zoom）」はいかがでしたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	1 良かった	14	44%
2	2 まあまあ良かった	14	44%
3	3 あまり良くなかった	1	3%
4	4 良くなかった	0	0%
5	5 参加していない	3	9%
合計		32	



【自由記述】

- ・申し訳ございません。離れて暮らしている親族からTELがあり、久しぶりで長く話してしまいました。
- ・家事都合により、遅い時間帯で参加できませんでした。
- ・秋田先生のお人柄を改めて感じながらの暖かい交流会だったと思います。
- ・皆様のそれぞれの私論が勉強になります。
- ・レスポンスの速さとか、出版のテクニックとか、少々横道の質問があったことが残念。
- ・関係者の方が多かったので、久しぶりにお目にかかれてよかったです。ただ、自由に会話は難しいので、今度の機会にお話ができればと思います。
- ・トークの後の交流会でもさすが活発な意見がでており大変参考になりました。忘己利他や、トラブルは言葉から等世界のリーダーたちに聞いてほしい内容でもありました。
- ・デジタルの使い方の話しがとても良かった。
- ・zoomとは言え、久しぶりに知人に会えて嬉しかったです。もう少し時間があると、なお良かったと思います。
- ・時間の制約があり、質問が限られたかも知れない。しかし、会の趣旨からみれば、適切な時間設定だったかもしれない。
- ・熱心な秋田さんファンからの質問がたくさんでて、活気がある会でした。
- ・講師も参加者も積極的な発言がつづき、見ているだけの参加でも楽しかった。
- ・Zoomに参加できず、最初の方のお話しをお聴きできず残念でした。帯、カバー、表紙の話は、参考になりました。
- ・最初はどうかと思ったが、いろいろな意見、エピソードが出て最後は時間が足りないと思った。
- ・秋田さんと視聴者の一対一の質疑が対話に変わってゆくプロセス、一対N、N対Nに変わって行くプロセスを体感することができました。とても有意義なあたかもリアルタイムSNSのような、リアルでありながらサイバー的なその場その空間のシンパシーがリモート参加の側にも伝わる「臨場感」があり、決して他人事ではなく、自分事、自分が解決しなければならない課題の方途が幾重にも提示されていたように思います。
- ・交流会とは、関係ない、出版に対する質問があった、(笑)
- ・様々な立場でのお話が聴けて参考になり楽しい時間でした。ZOOMならではの良さですね。
- ・40名以上が交流会に参加され、おもしろい質問、有益なコメントがありました。短い時間でしたが充実していました。

・参加されていた方々の質問を通じて より幅広く情報を知る事ができました。また、御友人や同業の方々との秋田先生のやり取りを通じまして（画面を通じてですが）何となく先生のお人柄を感じましたし、興味を持つ事が出来ました。大変有意義な時間でした。本日は、大変有難う御座いました。

・質問が活発に行われ、温かい雰囲気の中で進行されており、時間通りに終わったことも大成功につながったと思います。 また、最後に語った著者のリアルで対話することの大切さは、便利な時代になればなるほど、人との繋がりを濃いものにしていくことになること、再確認いたしました。

・お会いしたことのない方のお話を伺うことができました。

・Zoomが繋がらなかった。繋がれば上記に述べた感想を披露できたのに残念だった。パソコンが古くて安かったため繋がらなかったと思われる。

・参加者の意見や感想を聞いたのはよかった。

・話力より、本作りに質問が集中したのがちょっと残念でした。  
本にするとき、どの部分を削ったのか気になりました

・はじめてお目にかかる方々の素晴らしいお話しを聴く機会を設けていただき、感謝致します。もっと多くの方がご参加されるとよかったと思いました。

・秋田先生の進行がすべて。他の人だとうちはいかないと思います。

・色々な考えを持った人の意見を聴けることは今後の参考になると思います。

質問7 全体を通してのご感想やご意見、今後の開催に向けての改善点等ございましたら、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

- ・自分にとって個人的に非常にタイミングの良いお話しで聞き入ってしまいました。秋田先生ありがとうございました。
- ・もう少し講師の秋田さんのお話が聞きたかったと思いました。セミナー開催の時間帯も、もう少し早い時間帯にして欲しかったです。
- ・リアルとオンラインの難しさのお話もありましたが、このイベント自体オンラインでの開催で、本の魅力が伝わりとても良かったと思います
- ・話力の次は、先生のお人柄を含めた人間力（包容力的な意味です）について書籍を出してはいかがでしょうか？  
まずは、各国首脳に翻訳した書籍を配ってみてはいかがでしょうか？
- ・可能であれば交流会の時間を多めに取っていただけるとよりよいと思いました。
- ・人数が多いので意見を述べるのは難しいかと思います。ブレイクアウトルームを使用して、意見をまとめると良いのではないのでしょうか？
- ・一生使える話し方の教科書の具体内容についての深堀や反対意見なども聞きたかったと思います。全体的にすっきりまとまっております、大変聞きやすいトーク会でした。ありがとうございます。
- ・どうしてこの開催時間になったのか？遅すぎると思う。同じ内容で、17:00~と19:00~二本立てくらいが良いのではと思った。
- ・終始楽しく拝聴しました。ありがとうございます。
- ・対話力、話力の重要性を、楽しい雰囲気を通じて受け止めた。是非、磨きたい。
- ・全体30分があっという間に感じました。今までにない遅い時間帯での開催でしたが、家から参加できるので、落ち着いた夜の時間帯もありかと思いました。
- ・次回からはスムーズにZoomから入れると思います。投票機能はすごいです。佐々木さんの進行も素晴らしかったです。
- ・最後の交流会は他のリモート講演会では見られないもので、よかったと思っている。本を読んでいない人や秋田講師を知らない人にとっては、本の宣伝のための講演会ではないかと思われてもそれは仕方ないことだと思う。
- ・DPPは、コンテンツ、素材の価値をさらに高める対話支援システムだと感じました。DPPはテレビでも視聴者アンケートを実施してほぼリアルタイムに集計して視聴者の選好の現時点の分布をデータで明示したり、全国の広範囲の今の天候を科学的なセンサーで検知し測定するIoTではなく人のアナログな感覚でビジュアルに表示することはあたりまえに行われています。しかし、DPPはマスメディアを想定しているのではなく、ソクラテスの「問答法」をサポートするツールだと思います。あることをある言葉で質問したときの回答のバラつき、別の言葉で質問したとこのバラつきとの相違、そしてその相違の原因を質問したときのバラつき、一定の時間が経過した後に行う同じ言葉による質

問に対する回答のバラつきの変化といったファシリテーターが介在するN対Nリアルタイムコミュニケーションツールとしての可能性を示唆するものでした。秋田さんによるDPPを駆使した話し方教室を今度は「評論家」として観察したい興味が湧いてまいりました。このような明日へつながる知的に成長できる機会を提供くださりどうもありがとうございました。

・大変温かい交流会でした。このような会に初めて参加したので、前もって、声を出して良いのか悪いのか、拍手をして良いのか、教えて頂けたら良かったと思いました。

・アンケートの集計結果がリアルでわかるシステムは、参加しているという実感が湧いてとてもよかったです。

・大成功でした。関係の皆様に関心から。。。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

・秋田先生がお話の中で「これはバイブルにしてもらいたい。」とおっしゃっていましたが、納得しております。拝読しておりました「うんうん」と頷く自分がいるのに気付きましたが、反面、実践できていない事に反省できる本でした。この本を拝読しまして身近な仲間に薦めたくなりました。先ずは、3冊購入して読んでもらってます。もっと若い人にも是非読んでもらいたいなと思っております。今回の会に参加させて頂きまして秋田先生に直接お会いしたいとも思いました。有難うございました。今後の希望ですが、文庫本も出版して頂き、バイブルとして持ち歩け、ちょっとした時にも見る事ができる様になるといいなと思っております。

・私の知り合いで、kk2へのサイトに入れたい、シニアの方もいました。本人の問題もあると思います。

・筆者、編集者の方のお話が短い時間に凝縮されていて、とても充実していました。また、KK2の方がスマホの操作を親切に教えて下さって、とても助かりました。ありがとうございました。

・書籍を読んでなかったもので話に深く入り込めなかった。筆者の話は上滑りして深層が伝わって来ない印象を持った。既存の同テーマの本との差別化が不明。

・WEBでの会合は、会場に行かないでよいのでとても有難いです。

・この日に向け、ご準備が大変だったと思われます。素晴らしい企画とスムーズな進行により、この本の出版記念に相応しい内容の濃いトーク&交流会でした。ありがとうございました。

・ライブ配信からZoomへの移動で手間取りました。申込は会社のメルアドで行い、視聴は私物のPCだったので、案内メールを見ることができず、Zoomのアドレスが分かりませんでした。ライブ配信の最後のスライドにURLが書いてあったので慌ててそれを手打ちで打ち込んでどうにか入れました。このあたりをもっとスムーズにできないものかな、と思いました。映像は断然ライブ配信の方がきれいで、快適に視聴できました。

・コロナが早く終息してみんなで会って自由に交流ができることを願っています。また秋田理事長にお目にかかって話力についてご指導を受けたいと思います。